



「和・輪・話」のまち にっば

新羽地区社協ニュース

2024年度 第3号
発行責任者
新羽地区
社会福祉協議会
会長 米山 健二



日帰りバス研修会報告 11月14日(木)

社会福祉法人福祉楽団／恋する豚研究所（千葉県香取市）

就労持続支援A型の事業所

～ 安心安全に豚を育て、加工し、食べる人に届ける ～



恋する豚研究所



恋する豚

詳しくはこちら



【参加者の感想】

施設内は豚を育てる環境も良く、自社で開発した発酵飼料を与えて育てているようです。それらの豚は臭みもなく、甘みもあり後味もスッキリしていてスチームハンバーグを美味しくいただきました。就労継続支援 A 型事業所がもう少し増えると良いと思いました。

『恋する豚研究所』は農業、畜産、林業などで総合的な社会福祉を目指す団体で、レストランの料理は良く工夫されていてとても美味しく頂きました。食事後、担当者から施設内の説明があり、他団体と違い循環型の経営を進めていることがわかりました。高級ブランドとして豚肉の加工品を横浜のお店でも販売していることを聞き驚きました。天候にも恵まれた楽しい1日を過ごさせていただきました。

『恋する豚研究所』では障害のある方々が一生懸命働いて健常者の従業員の方と見分けがつかないほどでした。蒸籠にハンバーグとたくさんの野菜が入ったスチームハンバーグは初めてで、山葵と塩で美味しくいただきました。次に立ち寄った成田山新勝寺では寺内を歩き、沢山の社があることに驚きました。とても楽しい1日を過ごすことができました。新羽社会福祉協議会の米山会長はじめ役員の方々ありがとうございました。

モルック世界大会 8月24・25日 in 函館



横浜新羽モルッククラブ(YNMC)の快挙！

昨年8月に函館で『モルック世界大会2024』が開催されました。15か国から672チームが参加し、96ブロックに分かれ7チーム総当りのトーナメント方式で争いました。

「モルック世界大会に参加してきました！」 北新羽町内会会長 大森 洋一
モルックというニュースポーツを知ってから1年足らずの我々でしたが、世界の強者を相手に各ブロック上位2チームが翌日の決勝へ進出できる厳しい予選でした。

予選対戦相手は強者ばかりでしたが、**12試合(8勝4敗)でなんと同率1位！**
得失点差では2位でしたが、見事に予選通過しました(出来すぎ?!)

25日の決勝トーナメントは予選を通過した強豪192チームで、3チーム総当り戦で行われました。残念ながら決勝1回戦敗退となりましたが、モルックという競技を通じて、仲間とのコミュニケーションや対戦相手との親睦を深め、心から楽しむことができました。

目標は、『**新羽はもとより、港北区内にもモルックの楽しさを普及させよう！**』

区内のスポーツ推進委員を対象にモルック体験会を開催しています。



右から 神澤 誠、大森 洋一
安部 広美、堀江 大介

日本モルック協会(公式)のサイトで
ルールや歴史を確認できるよ！



日本モルック協会(公式)

新羽地域では『モルックを楽しむ会』も活動しています。お問い合わせは新羽地域ケアプラザまで

薬剤師から見た 能登半島地震

～地震災害支援が私たちに教えてくれること～

災害から学び、災害に備える

被災地で支援活動をした薬剤師の先生から、モバイルフーマシー（※）による被災地支援の現状についてお話しいただきます。

講師：すみれ薬局薬剤師
港北区薬剤師会 副会長 市川 浩 氏

令和7年2月9日（日）13時30分～15時（開場13時）

会場：新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス 2階

皆さままで10周年

ご参加いただき誠にありがとうございました。

市川 浩 先生

市川氏が実際に被災地で経験したニュースでは流れない逼迫した現状や、薬剤師の視点からみた苦しい支援活動の様子などを写真で説明がありました。またいざという時のマイナ保険証やお薬手帳（薬の名前をメモしたもの）の持参についてのアドバイスもいただき、とても興味深い内容でした。

新羽地区社協
米山 健二 会長

「避難所での大切なことを覚えておこう！」

- ◇避難リュックの準備。お薬・おくすり手帳・薬の情報書（メモ）も忘れずに。
- ◇土足厳禁！トイレ等を行き来する靴は菌の温床です。感染症・食中毒対策にもなります。寒い時期は厚めの靴下で体を冷やさない工夫を。
- ◇トイレの使い方のルールを決めよう！

避難所や集合住宅での水の供給状態を把握しよう。
トイレ機能が停止した状態で水を流すと大惨事！！
携帯トイレの準備をしておきましょう。

必要な情報を集めましょう！

令和6年度賛助会費の報告

※賛助会費は1口 2,000円となっております

皆さま（499名）のご協力をいただき、令和6年度賛助会費は¥1,324,000となりました。

お預かりした費用は港北区社会福祉協議会へ納入し、新羽地区社会福祉協議会の活動交付金として還元され、新羽地区でのイベントや各団体への助成金として大切に使用させていただきます。

どのような活動に使用したかは「5月総会」や「社協ニュース」でご報告させていただきます。

令和6年度年末助けあい募金

各町会の皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました♡

令和6年度寄付金のお知らせ

新羽町親睦ゴルフ大会実行委員様より4月・11月の2回で合計72,500円のご寄付をいただきました。また前回の社協ニュースでもお知らせいたしましたが、7月に高木小児科クリニック様より30,000円のご寄付をいただいております。寄付金は地域福祉活動に有効に活用させていただきます。

令和6年度助成金報告

新羽町防犯部：新羽町連合町内会防犯部の作文集の編集費の支援をしました。
 青少年指導委員協議会：ユニホーム代（5名分）の申請があり助成しました。
 新羽モルッククラブ：競技で使う材料費の申請があり、購入費の支援をしました。
 注連引き保存会：藁蛇作成の資材費等の申請があり助成しました。
 新羽歩こう会：イベント開催の費用の申請があり助成しました。
 にっぱラジオ隊：印刷代等の費用の助成をしました。



作文集『若い芽』



藁蛇



モルック備品

～助成金申請について～ 申請を希望する個人・団体は事務局までご連絡ください。

新羽地区社会福祉協議会 HP 開設のお知らせ

総会資料をはじめ、『新羽地区社会福祉協議会のイベント案内』や『生活に役立つ情報』等がご覧いただけます。インターネットから『新羽地区社会福祉協議会』を検索。または右側の QR コードを読み取りご覧ください。



新羽地区社会福祉協議会事務局

事務局 FAX：045-546-4935 / メール：nippashakyo2024@gmail.com

☆賛助会員の方でご名義・ご住所等のご変更がありましたら、お手数ですが上記メールアドレスまたは各町会までご連絡よろしくお願い致します。